

中国文化論Ⅱ

科目ナンバリング ARS-116
選択 2単位

劔重 依子

1. 授業の概要(ねらい)

後期の授業では前期に引き続き、歴史的に形成されてきた中国の文化を受け継ぐ中国人の様々な有り様を理解しながら、全体としての中国の社会と文化を把握することを中心に授業を行います。西方文化と中国伝統文化が融合しながら形成されてきた現代中国文化について、特に「地域文化」や「亜文化」といった観点に着目し学習していきます。同時に、社会・経済的に急速に発展してきた現代中国において、古来からの文化・価値観がどのような変化を来しているのかについても検証していきます。中国人の「衣、食、住」に関わる文化的特徴や各地域文化を分析し、中国人の教育観・家族観・ビジネス観などについても学習していきます。また、多民族国家としての中国、そして発展する都市部の動向も合わせて中国の現代社会状況についての理解を深めていきます。

2. 授業の到達目標

長い歴史と多民族で構成されている中国の社会と文化を歴史的な形成背景から分析することにより、中国という国と中国人をより立体的に理解していくことを目的とします。また、地域や民族、宗教などを背景とした異文化間における相互理解をより深めていくための見識を獲得できるような取り組みとします。そして、中国という国と現代中国人についてリアルに理解することにより、自分自身の意見を発表できるようになることを目指します。

中国の社会と文化を学ぶことは中国人を理解することにつながります。日本人及び日本社会との文化的な差異性や類似点を比較理解することは大切なことです。中国と隣接する私たちは、中国をより深く理解し、中国人をもっと知ることが必要だと考えます。この授業では、中国人の価値観や行動原則に様々な形で影響を与えている“中国文化”を私たちが学習し理解することで、あらゆる面でより質の高い交流が行える基礎を築くことを目的としています。

3. 成績評価の方法および基準

中間試験40%+期末試験40%+不定期に実施するレスポンスペーパー20%の総合評価となります。

4. 教科書・参考文献

教科書

毎回の授業プリントと音声ファイル

参考文献

各授業で関連参考書を指示する

5. 準備学修の内容

各回の授業の一、二週間前位に行う事前準備学修や復習内容について指示します。指示をした事前準備学修の内容を前提として講義を行います。講義で説明した内容について、参考文献等により各自で理解を深めておくようにして下さい。

6. その他履修上の注意事項

各自関心を持った事項については、図書館の活用等を通じて自主的に学習することを期待します。授業中に重要と思われるところはノートを取るようして下さい。中間と期末テストはプリントの内容だけではなく、音声ファイルやパワーポイントで説明する内容も含まれるので、合わせてしっかり受講して下さい。

7. 授業内容

【第1回】 オリエンテーション／前期のおさらい。[9月16日]

【第2回】 中国の地域食文化と酒文化[9月23日]

【第3回】 中国の世界文化遺産／前編[9月30日]

【第4回】 中国の世界文化遺産／後編[10月7日]

【第5回】 中国のファッション文化 [10月14日]

【第6回】 中国の芸術文化／前編[10月21日]

【第7回】 中国の芸術文化／後編[10月28日]

【第8回】 まとめと中間テスト[11月4日]

【第9回】 中国の世界自然文化遺産[11月11日]

【第10回】 中国の少数民族文化[11月18日]

【第11回】 中国の武術文化[12月2日]

【第12回】 中国の建築文化／前編[12月9日]

【第13回】 中国の建築文化／後編[12月16日]

【第14回】 中国の礼儀・慣習文化 [1月6日]

【第15回】 復習と期末テスト [1月13日]